

Paul Smith  
WATCH

# Paul Smith 時計 取扱説明書

## はじめに

---

このたびは、ポール・スミスウォッチをお買い上げいただきましてありがとうございます。ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使いいただきますようお願い申し上げます。

なお、この取扱説明書は大切に保管し、必要に応じてご覧下さい。

### 時刻やカレンダーを合わせる前に

- りゅうずが、ねじロック式の場合は、ねじをゆるめてから操作を行ってください。操作が終わりましたら、りゅうずを通常的位置に戻して、ねじをしっかり締めてください。
- 日付は、午前0時付近で切り替わります。24時間表示やカレンダーの切り替わる時刻に注意して、午前と午後を間違えないように時刻を合わせてください。
- 曜日は、午前0時から午前4時半ごろまでに切り替わります。

### カレンダーを合わせるときのご注意

- 日付は31日制です。3月、5月、7月、10月、12月の初日にカレンダーを合わせる必要があります。
- カレンダーが切り替わる時間帯\*に針があるときは、カレンダーの修正は避けてください。修正すると、翌日になってもカレンダーが切り替わらないことがあります。一度、カレンダーが切り替わる時間帯以外に針を動かしてから、カレンダーを合わせてください。

\* カレンダーが切り替わる時間帯は、機種によって異なります。詳しくはこの取扱説明書の操作説明をご覧ください。

お買い上げいただいた時計と取扱説明書のイラストは、外観、りゅうず位置、カレンダーの位置などが異なる場合があります。

## 安全上のご注意 必ずお読みください

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。絵表示の意味をよく理解してから、22～32ページを必ずお読みください。

■表示内容を見逃して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区別し、説明しています。

 <b>危険</b>	この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が高い」内容です。
 <b>警告</b>	この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。
 <b>注意</b>	この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

■お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。(下記は、絵表示の一例です。)

	このような絵表示は、気を付けていただきたい「注意喚起」内容です。
	このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。

### バンド調整について

お客様ご自身で時計のバンド(金属やゴム)の長さを調整しないでください。時計が落下したり、調整時にケガをするおそれがあります。(製品にバンド調整用の道具が付属している場合は除く)

### 保護シールについて

時計のガラスや金属部分(裏ふた、バンド、中留め)にシールが貼られているときは、ご使用前に必ずはがしてください。シールのすき間に汗や水分が入り込むと、皮膚のかぶれや金属の腐食の原因となる場合があります。

## 目次

---

### クオーツウオッチ

- 2針・ブレーン(電磁修正式) ..... 8  
機種No. 1320(リゅうずのないモデル)
- カレンダー/24時間針付き ..... 10  
機種No. 632※/638※
- クロノグラフ ..... 12  
機種No. J52※

### メカニカルウオッチ

- 機械式(自動巻)時計 ..... 16  
機種No. 9150

外装機能の使いかた.....	20
防水性能について.....	22
お取り扱いにあたって.....	24

**機種No.の見かた**  
機種番号は、裏ぶたに刻印  
されています。

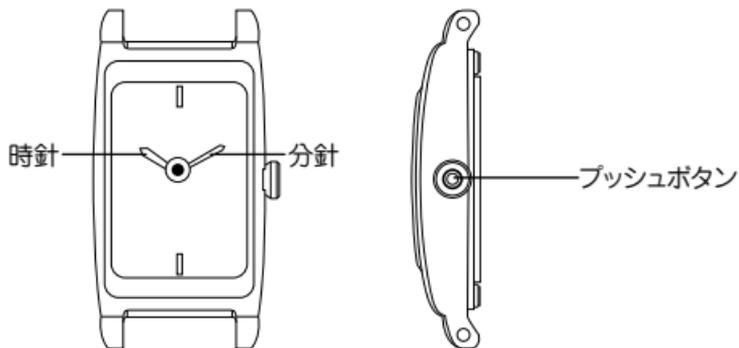
例:機種No. J52※の場合



## クオーツウォッチ

### 2針・プレーン(電磁修正式)

機種No. 1320



この時計は、プッシュボタンを押して時刻を合わせます。

## 時刻の合わせかた

### 1. プッシュボタンをくりかえし押す

- ボタンを押すごとに、針が右回り(時計回り)に動きます。
- ボタンを1秒以上押し続けると、針が連続して動きます。ボタンを放すと針が止まります。
- \* 針を連続して動かすと、時針は約70秒で一回転します。
- \* 針を左回り(反時計回り)に動かすことはできません。

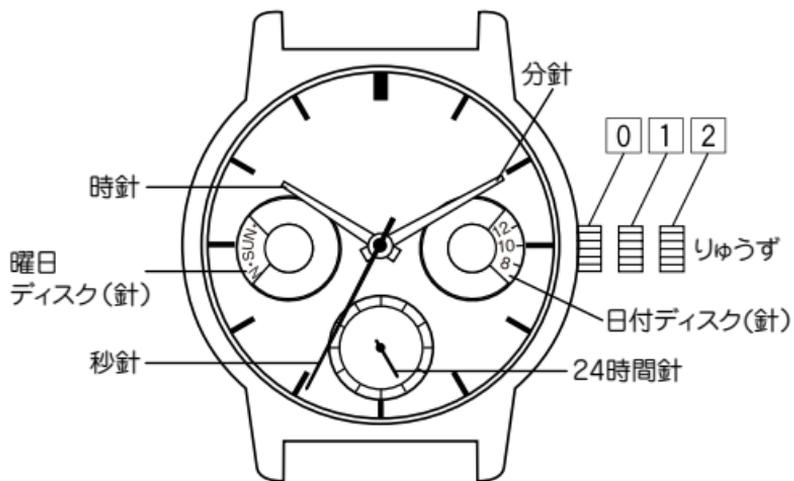
### より正確に時刻を合わせるには

この時計は、プッシュボタンを押すごとに針が20秒分(分針では1目盛の1/3)動きます。

合わせたい時刻の1分ほど前に針を止めて、次にプッシュボタンを数回押して正しい時刻に合わせてください。プッシュボタンを押したときから時計は動きはじめます。

## カレンダー/24時間針付き

機種No. 632※/638※



- モデルにより、曜日や日付のディスクが針の場合があります。
- モデルにより、カレンダーの表示がない場合があります。

## 時刻・曜日・24時間針の合わせかた

### 1. りゅうず位置を $\boxed{2}$ にする

針が停止します。

### 2. りゅうずを回して時刻と曜日を合わせる

- 針が右回り(時計回り)に動くように、りゅうずを回してください。針が左回り(反時計回り)に動くようにりゅうずを回すと、時刻が正しく表示されない場合があります。
- 24時間針が連動して動きます。

### 3. りゅうず位置を $\boxed{0}$ に戻す

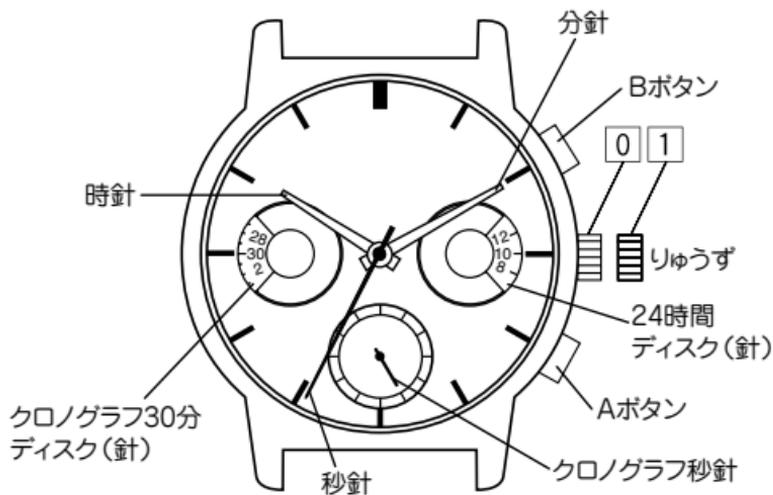
## 日付の合わせかた

### 1. りゅうず位置を $\boxed{1}$ にする

### 2. りゅうずを回して日付を合わせる(早修正)

- 午後9時から翌日の午前0時は、日付が切り替わる時間帯です。この時間帯での修正は避けてください。翌日に日付が切り替わらない場合があります。

### 3. りゅうず位置を $\boxed{0}$ に戻す



モデルにより、クロノグラフ30分ディスク(針)やクロノグラフ秒針、24時間ディスク(針)がない場合や、位置がイラストと異なる場合があります。

## 時刻の合わせかた

### 1. りゅうず位置を①にする

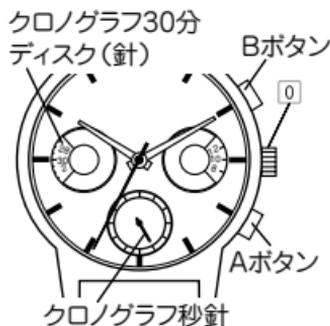
クロノグラフ秒針とクロノグラフ30分ディスク(針)は、現在の基準位置に移動します。

### 2. りゅうずを回して時刻を合わせる

・ 24時間ディスク(針)が連動して動きます。

### 3. りゅうず位置を②に戻す

## クロノグラフの使いかた



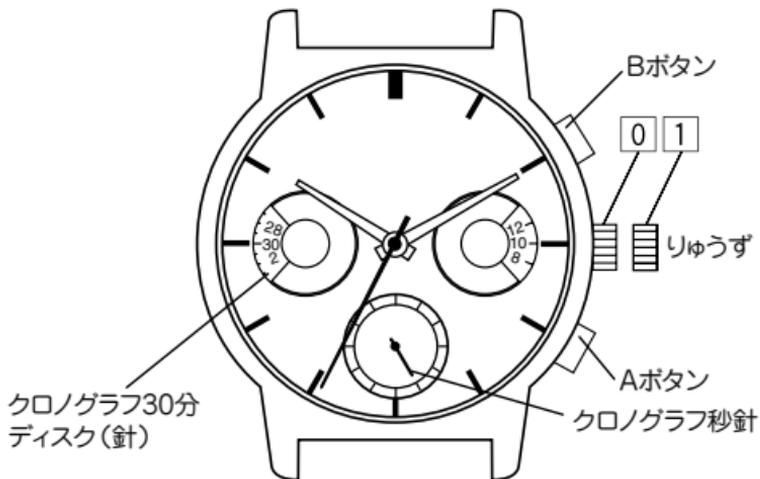
- ・ Bボタンを押すごとに、計測を開始・停止・再開します。
- ・ 計測停止時にAボタンを押すと、クロノグラフをリセットします。
- ・ 最大29分59秒まで計測できます。
- ・ このクロノグラフは30分計です。計測開始から30分後に自動停止します。

\* クロノグラフの使用回数が多い、または使用時間が長いと、電池の寿命が短くなります。ご注意ください。

## クロノグラフ

機種No. J52※

### クロノグラフディスク・針の基準位置合わせ



## ＜基準位置修正＞

クロノグラフ秒針とクロノグラフ30分ディスク(針)が正しい基準位置に戻らないときには、基準位置修正を行ってください。

### 1. りょうず位置を $\boxed{1}$ にする

### 2. AボタンまたはBボタンを押して、クロノグラフ秒針とクロノグラフ30分ディスク(針)を正しい基準位置に合わせる

- クロノグラフ秒針とクロノグラフ30分ディスク(針)は、連動して動きます。
- ボタンを押すごとに、1ステップずつ動きます。
  - Aボタンを押すと左回り(反時計回り)に、Bボタンを押すと右回り(時計回り)に動きます。
- ボタンを押し続けると、連続して動き続けます。



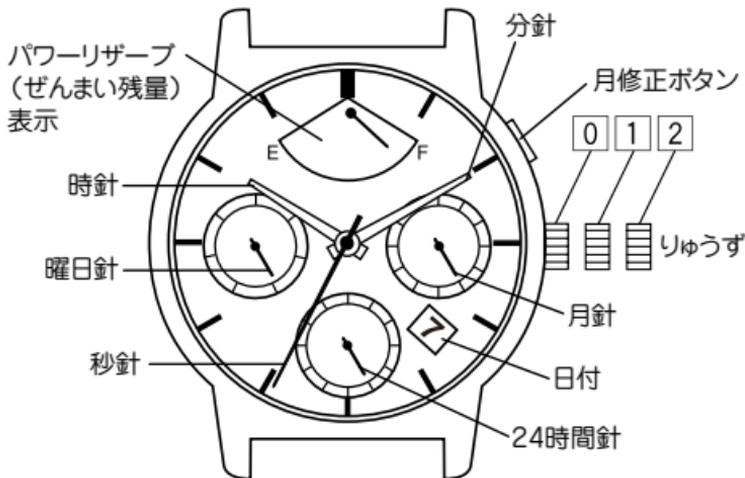
### 3. りょうず位置を $\boxed{0}$ に戻す

## 機械式(自動巻)時計

機種No. 9150

自動巻時計は、歩いたときの腕の振りなどで、ぜんまいが巻かれます。手動で巻くこともできます。

- ご使用の前に時計が止まっているときは、りゅうず位置を0にしてりゅうずを右回り(時計回り)に回し、ぜんまいを手動で巻いてください。



## 時刻の合わせかた

1. りゅうず位置を[2]にする  
針が停止します。
2. りゅうずを回して時刻を合わせる  
・ 24時間針が連動して動きます。
3. りゅうず位置を[0]に戻す

## 日付・曜日の合わせかた

1. りゅうず位置を[1]にする
2. りゅうずを回して日付・曜日を合わせる  
・ 日付を合わせるときは、りゅうずを右回り(時計回り)に回します。  
・ 曜日を合わせるときは、りゅうずを左回り(反時計回り)に回します。
3. りゅうず位置を[0]に戻す

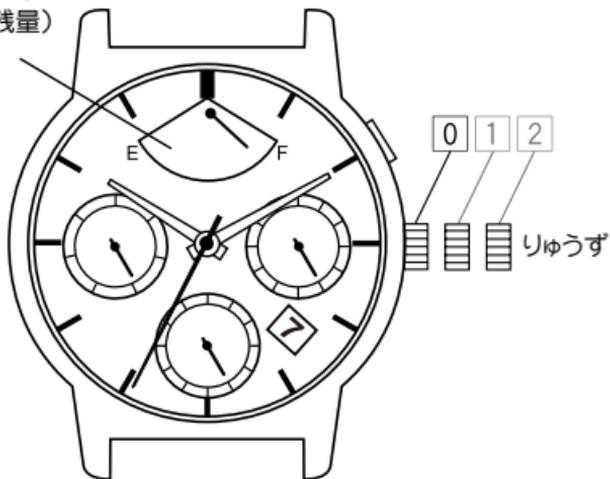
## 月の合わせかた

1. 月修正ボタンを押す  
・ ボタンを押すごとに、月針が1ヶ月分ずつ右回り(時計回り)に動きます。

## カレンダー修正時の注意

午後8時から翌日の午前5時は、カレンダーが切り替わる時間帯です。この時間帯での修正は避けてください。  
翌日にカレンダーが切り替わらない場合があります。

パワーリザーブ  
(ぜんまい残量)  
表示



モデルにより、パワーリザーブ表示の向きがイラストと異なる場合があります。

## パワーリザーブ表示について

ぜんまいの巻き上げ状態を目安として表示します。  
できるだけF(Full)に近い状態でお使いいただくと、安定した精度が保たれます。

E(Empty):	ぜんまいが巻かれていません。
F(Full):	ぜんまいがいっぱい巻かれています。

- 手でぜんまいを巻くときは、りゅうず位置を0にして右回り(時計回り)に回してください。
- ぜんまいがいっぱい巻かれた状態からの持続時間は、約40時間です。

## 精度(1日の進み遅れ)について

- 機械式時計の特性上、使用条件(携帯時間、ぜんまいの巻き上げ状態、時計の使われる姿勢、温度環境、衝撃の影響など)により、1日の進み遅れは変化し、精度範囲を超える場合があります。

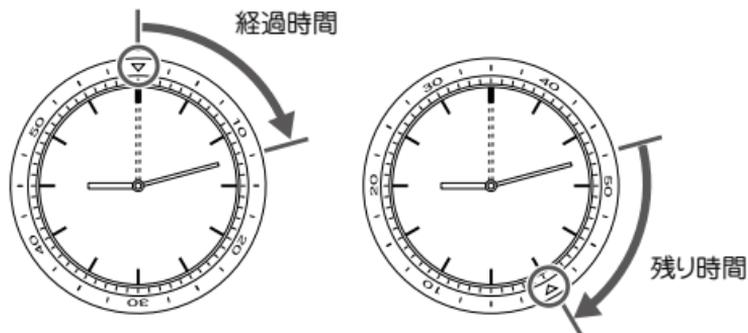
## 外装機能の使いかた

---

モデルにより、以下のような機能を持つ回転リングが付いています。

### <時間計測機能>

回転リングの▽を特定の時刻に合わせて、そこからの経過時間を計ることができます。また、目標の時間に合わせると、残り時間がわかります。



## <時差換算機能>

回転リング上に時差順に並んだ各都市の、おおよその時刻(24時間制)を読み取ることができます。

例えば、東京が22時のときのパリの時刻を知りたいときは、「TOKYO」を24時間目盛りの22時に合わせると、パリ(「PARIS」)の時刻が14時だとわかります。

- サマータイム期間中の都市の場合は、時刻を1時間足してください(例の場合は15時)。

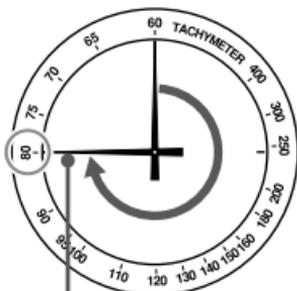


24時間目盛り

## <時速計算機能(タキメーター)>

自動車などが1km走行するのにかかった時間をクロノグラフで計測することで、その区間の平均時速が表示されます。

右の図は、1kmを45秒で走行した場合の例です。タキメーターの表示から、平均時速は80kmだとわかります。



秒針

## 防水性能について

---

### **警告** 防水性能について

- ・ 時計の文字板もしくは裏ぶたの防水性能表示をご確認の上、下表を参照して正しくご使用ください。(1 barは約1気圧に相当します)
- ・ WATER RESIST (ANT)×× barはW.R.×× barと表示している場合があります。
- ・ 非防水時計は、水中や水に触れる環境での使用はできません。
- ・ 日常生活用防水時計(3気圧防水)は、洗顔などには使用できませんが、水中での使用はできません。

名称	表示	仕様
	文字板又は裏蓋	
非防水時計	—	非防水
日常生活用防水時計	WATER RESIST	3気圧防水
日常生活用強化防水時計	W. R. 5 bar	5気圧防水
	W. R. 10/20 bar	10気圧防水、 20気圧防水

- 日常生活用強化防水時計(5気圧防水)は、水泳などには使用できますが、素潜り(スキndaイビング)やスキューバ潜水などには使用できません。
- 日常生活用強化防水時計(10/20気圧防水)は、素潜りには使用できますが、スキューバ潜水・ヘリウムガスを使う飽和潜水には使用できません。

使用例					
					
水がかかる程度の使用。(洗顔、雨など)	水仕事や一般水泳に使用。	スキndaイビング、マリンスポーツに使用。	空気ポンベを使用するスキューバ潜水に使用。	水滴がついた状態でのリゅうずやボタンの操作。	
×	×	×	×	×	
○	×	×	×	×	
○	○	×	×	×	
○	○	○	×	×	

## お取り扱いにあたって

---

### **注意** 人への危害を防ぐために

- 幼児を抱くときなどは、幼児のけがや事故防止のため、あらかじめ時計を外すなど十分ご注意ください。
- 激しい運動や作業などを行うときは、ご自身や第三者へのけがや事故防止のため、十分ご注意ください。
- サウナなど時計が高温になる場所では、やけどの恐れがあるため絶対に使用しないでください。
- バンドの中留め構造によっては、着脱の際に爪を傷つける恐れがありますのでご注意ください。
- 時計をしたまま就寝しないでください。思わぬけがやかぶれを引き起こす恐れがあります。

## 注意 使用上の注意

- りゅうずは常に押し込んだ状態(通常位置)でご使用ください。りゅうずがねじ締めタイプであれば、しっかり固定されているか確認してください。
- 水分のついたままりゅうず操作をしないでください。時計内部に水分が入り防水不良となる場合があります。
- 万一、時計内部に水が入ったり、またガラスの内面にクモリが発生し長時間消えないときは、そのまま放置せず、お買い上げ店または、弊社お問い合わせ窓口へ修理、点検を依頼してください。
- 時計の防水性能が高い場合でも、次のことにご注意ください。
  - 海水に浸したときは、真水で洗い乾いた布で良くふきとる。
  - 水道水を蛇口から直接時計にかけない。
  - 入浴するときは時計をはずす。
- 時計内部に海水が入った場合には、箱やビニール袋に入れてすぐに修理依頼をしてください。  
時計内部の圧力が高まり、部品(ガラス、りゅうず、プッシュボタンなど)が外れる危険があります。

## **注意** 携帯時の注意

### <バンドについて>

- 皮革バンドやウレタンバンド(ゴムバンド)は、汗や汚れにより劣化します。また皮革バンドは自然素材のため磨耗や変形、変色などの経年劣化があります。定期的に交換してください。
- 皮革バンドは材質の特性上、水に濡れると耐久性に影響がでる場合があります(脱色、接着はがれ)。また、かぶれの原因にもなります。
- 皮革バンドに揮発性薬品、漂白剤、アルコール成分が含まれる物質(化粧品など)が付着しないようにしてください。色落ち、早期劣化の原因となります。また、直射日光などの紫外線も変色や変形の原因となります。
- 皮革バンドの時計は防水時計であっても、水を使うときは時計を外すことをおすすめします。
- バンドは多少余裕を持たせ、通気性を良くしてご使用ください。
- ウレタンバンド(ゴムバンド)は、衣類等の染料や汚れが付着し、除去できなくなることがあります。色落ちするもの(衣類、バッグ等)と一緒に使用する場合はご注意ください。また、溶剤や空気中の湿気などにより劣化する性質があります。弾力性がなくなり、ひび割れを生じたらお取替えください。

- 以下の場合、速やかにバンドの調整・修理をご依頼ください。
  - 腐食により、バンドに異常が認められたとき
  - バンドのピンが飛び出しているとき
- お客様ご自身で時計のバンド(金属やゴム)の長さを調整しないでください。時計が落下したり、調整時にケガをするおそれがあります。

### <温度について>

- 極端な高温/低温の環境下では、時計が停止したり、機能が低下する場合があります。

### <磁気について>

- アナログ式クォーツ時計は、磁石を利用した「ステップモーター」で動いており、外部から強い磁気を受けるとモーターの動きがみだされて、正しい時刻を表示しなくなる場合があります。磁気の強い健康器具(磁気ネックレス・磁気健康腹巻など)、冷蔵庫のマグネットドア、バッグの留め具、携帯電話のスピーカー一部、電磁調理器などに近づけないでください。

### <ショックについて>

床面に落とすなどの激しいショックは与えないでください。外装バンドなどの損傷だけでなく機能、性能に異常を生じる場合があります。

### <静電気について>

クォーツ時計に使われているICは、静電気に弱い性質を持っています。強い静電気を受けると正しい時刻を表示しない場合がありますので、ご注意ください。

### <化学薬品・ガス・水銀について>

化学薬品・ガスの中でのご使用は避けください。シンナー・ベンジン等の各種溶剤およびそれらを含有するもの(ガンソリン・マニキュア・クレゾール・トイレ用洗剤・接着剤・撥水剤など)が時計に付着しますと、変色・溶解・ひび割れ等を起こす場合があります。薬品類には十分注意してください。また、体温計などに使用されている水銀に触れたりしますと、ケース・バンド等が変色することがありますのでご注意ください。

### <保護シールについて>

時計のガラス部分や金属部分(裏ぶた、バンド、中留め)にシールが貼られているときは、ご使用前に必ずはがしてください。シールのすき間に汗や水分が入り込むと、皮膚のかぶれや金属の腐食の原因となる場合があります。

## **注意** 時計は常に清潔に

- りゅうずやプッシュボタンを長期間動かさないままにしていると、付着しているゴミや汚れが固まり、操作できなくなる事がありますので、ときどきりゅうずを空回りさせたり、プッシュボタンを押してください。また、ゴミ、汚れを落としてください。
- ケースやバンドは、直接肌に接しています。金属の腐食や汗、汚れ、ほこりなどの気づかない汚れで衣類の袖口などを汚す場合があります。常に清潔にしてご使用ください。
- ケースやバンドは直接肌に接しています。ケースやバンドに発生したサビ、汚れ、付着した汗、または金属、皮革アレルギーなどにより皮膚にかゆみ・かぶれを生じる場合があります。異常を感じたらすぐに使用を中止して医師に相談してください。  
汗や汚れが付着した場合は、金属材質のバンドやケースは、はけなどを使い中性洗剤で汚れを除去してください。皮革材質のバンドは、乾いた布などで拭き、汚れを除去してください。
- 皮革バンドは汗や汚れにより「色落ち」を起こすことがあります。乾いた布で拭くなどして常に清潔にご使用ください。

## 時計のお手入れ方法

- ケース・ガラスの汚れや汗などの水分は、柔らかい布で拭き取ってください。
- 金属バンド・プラスチックバンド・ゴムバンドは水で汚れを洗い落としてください。  
金属バンドのすき間につまったゴミや汚れは柔らかいハケなどで取り除いてください。
- 皮革バンドやウレタンバンドは乾いた布などで拭いて汚れを取り除いてください。
- 時計を長時間ご使用にならないときは、汗・汚れ・水分などを良く拭き取り、高温・低温・多湿の場所を避けて保管してください。

## **注意** 電池交換について

- 使用済みの電池を火中に投げないでください。
- 電池は子供の手の届かないところに保管してください。
- 誤って電池を飲み込んだ場合には、ただちに医師と相談して治療を受けてください。
- 分解・改造・加熱しないでください。事故につながる恐れがあります。
- 電池寿命切れの電池をそのままにしておきますと、漏液等により故障の原因となることがあります。早めに電池交換をしてください。
- 電池交換の際は、必ず指定電池をご使用ください。

### 夜光付き時計の場合は

時計の文字板や針には、放射性物質などの有害物質を一切含まない、人体や環境に安全な物質を使用した蓄光塗料が使用されています。

この塗料は太陽光や室内照明（白熱灯を除く）などの光を蓄え、暗い所で発光します。

- 蓄えた光を放出させるため、時間の経過とともに少しずつ明るさ（輝度）は落ちていきます。
- 光を蓄えるときの光の明るさや光源からの距離、光の照射時間や蓄光塗料の量などによって、発光する時間に差異が生じます。
- 光が十分に蓄えられていないと、暗い場所で発光しなかったり、発光してもすぐに暗くなってしまう場合がありますのでご注意ください。

